2020年2月26日

各 位

三井住友信託銀行株式会社

# 第1回ESGファイナンス・アワード・ジャパン（環境省主催）融資部門 金賞（環境大臣賞）を受賞

三井住友信託銀行株式会社（取締役社長：橋本　勝、以下「当社」）は、環境省が今年創設したESGファイナンス・アワード・ジャパン　融資部門において、金賞（環境大臣賞）を受賞しましたのでお知らせします。

ESGファイナンス・アワード・ジャパンは、ESG金融やグリーンプロジェクトに関して積極的に取り組み、環境・社会に優れたインパクトを与えた投資家・金融機関等、また環境関連の重要な機会とリスクを企業価値向上に向け経営戦略に取り込み、企業価値と環境へインパクトを生み出している企業の取組を評価・表彰し社会で共有することを目的として、創設されました。投資家・金融機関等を対象として、①投資家部門、②融資部門、③金融サービス部門、④ボンド部門が、また企業を対象として、⑤環境サステナブル企業部門が設定されています。

当社は、上記②融資部門において、サステナビリティをビジネスの柱として注力していること、また、世界初の国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）(※1)のポジティブ・インパクト金融原則(※2)に基づく融資契約（ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、「PIF」））の実現が評価され、金賞（環境大臣賞）を受賞しました。

PIFは、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資を実行するもので、企業によるSDGs達成への貢献度合いを評価指標とすることが最大の特徴です。今回の受賞においては、お客さまとの対話を通じたインパクト評価やKPIの設定などの取り組み、国内外の銀行業界へのPIFの普及に尽力している点が高く評価されました。

当社では、PIFにより、SDGsの目標達成に資するお客さまの事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値向上に貢献することを目指してまいります。

（※1）国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）

国連環境計画（UNEP）は、1972 年に「人間環境宣言」及び「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関です。UNEP FI は、UNEP と200 以上の世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992 年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展とESG（環境・社会・企業統治）への配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。

（※2）ポジティブ・インパクト金融原則

UNEP FI が2017 年1 月に策定した、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた金融の枠組です。企業がSDGs の達成への貢献をKPI で開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くものです。融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングすることによって、インパクトが継続していることを確認します。

以上